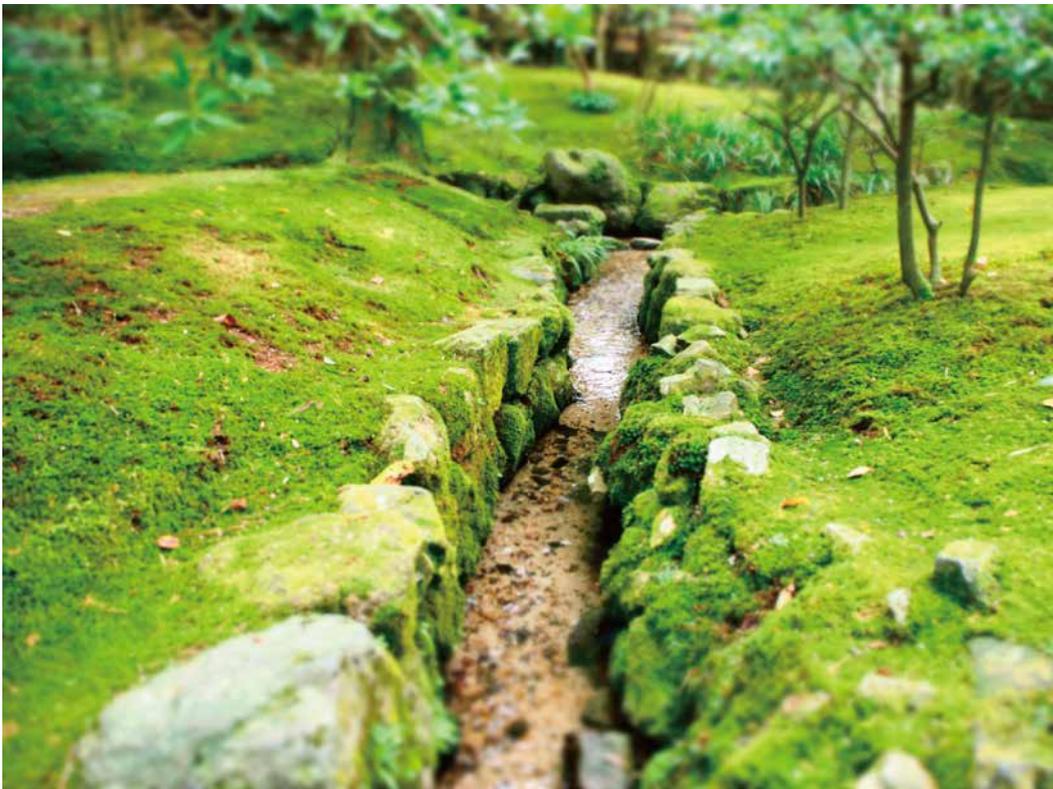


# カメラの魅力



上段右 / 写真①、下段 / 写真②、上段左 / 写真③

久馬 麻希 大阪国際がんセンター



**私**の趣味は、カメラで花や風景などを撮影することです。

父がカメラ好きで私が幼いころからよくいろいろな写真を撮っていました。

その影響かはわかりませんが、私も携帯のカメラで写真を撮ることが好きでした。

そんななかで、カメラが趣味となったきっかけは、友人が撮影した写真（写真①）を見せてもらったことです。携帯カメラじゃ撮影できないくらいきれいな写真で、私も同じような写真が撮りたいと思ったことがきっかけです。

携帯カメラ以外のカメラを持っていなかったのですが、まずは、初心者向けのミラーレス一眼カメラ（OLYMPUS PEN Lite E-PL7）を購入しました。ミラーレス一眼カメラの魅力は普通に撮影できるだけでなくアートフィルター・エフェクト機能と言って写真撮影後の写真データそのものをカメラ内で加工する機能の種類が多くあることです。初心者でもアートフィルターを使うだけできれいな写真が撮影できます（写真②）。写真②は「ジオラマ」というアートフィルターを使用しました。上下を意図的にはっきりとボカして視覚的に距離感を迷わせることで、ジオラマやミニチュアに見えるようにした写真です。

カメラに慣れてきたころには、自分で細かい設定を変えて撮影したいと思うようになり、持つことが憧れだっ

た一眼レフカメラ（Cannon EOS8000 D）を購入しました。

一眼レフカメラは、ミラーレス一眼カメラよりもシャッタースピードや絞り値など値の設定できる幅が大きく、より自分の思い通りの写真が撮影できるようになりました。

また、一眼レフカメラは、カメラのレンズの種類が豊富で標準のカメラレンズの他に単焦点というレンズを購入し使用しています。単焦点レンズは一点に焦点をあて、他はボカすというレンズ（写真③）です。この単焦点レンズで春は桜、夏はひまわり、秋は紅葉、冬はイルミネーションなど四季折々のものを撮影しています。このレンズで撮影できる写真がとても好きです。

カメラを趣味にしたことで新しい仲間と出会い、自分の行動範囲も広がりました。

カメラは一人でも十分楽しめるのですが、何人かでカメラを持って撮影しに行き撮った写真をその場で共有し「この写真いいね!」、「もっとこうしたほうがいい写真が撮れるんじゃない?」とほめてもらえたり、アドバイスをもらえたりしながら撮影できることが私にとってはとても楽しく有意義な時間です。

最近は、コロナ禍でなかなか思うように動いていませんが、まだまだ行きたい場所や撮影に挑戦したいものがたくさんあるので自分のベースでこれからもたくさん写真を撮ろうと思っています。